

平成28年5月24日

石狩川下流における大規模氾濫に対する減災対策を地域ぐるみで推進

～「石狩川下流減災対策委員会」を新たに設置・開催します～

この度、国、北海道、市町村等が連携・協力して、大規模氾濫に対する減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するため、「石狩川下流水防連絡協議会 石狩川下流減災対策委員会」を設置し、第1回委員会を開催します。

- 昨年9月の関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流出や広範囲かつ長時間の浸水が発生しました。
- これを踏まえ、国土交通省では、社会全体で大規模な氾濫の発生に備える「水防災意識社会 再構築ビジョン」に取り組むこととしています。
- 石狩川下流地域においても大規模な氾濫の発生に備え、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するために、国、北海道、市町村等からなる「石狩川下流減災対策委員会」を新たに設置し、第1回委員会を開催します。

記

1. 開催日時

平成28年5月27日(金) 15:15から(1時間程度を予定)

2. 開催場所

札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階

住所：札幌市中央区南3条西12丁目

3. 議事(予定)

- ・現状の水害リスクや取組状況について
- ・減災のための目標(案)について
- ・今後のスケジュールについて

4. 公開等 会議は取材可能ですが、カメラ撮影は会議冒頭部分のみとしております。

※ 本会議は「石狩川上流減災対策委員会」との合同会議となります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部
河川管理課 課長 秋山 泰祐(電話番号 011-611-0340 ダイヤルイン)
防災課 課長 岩崎 政司(電話番号 011-611-0306 ダイヤルイン)

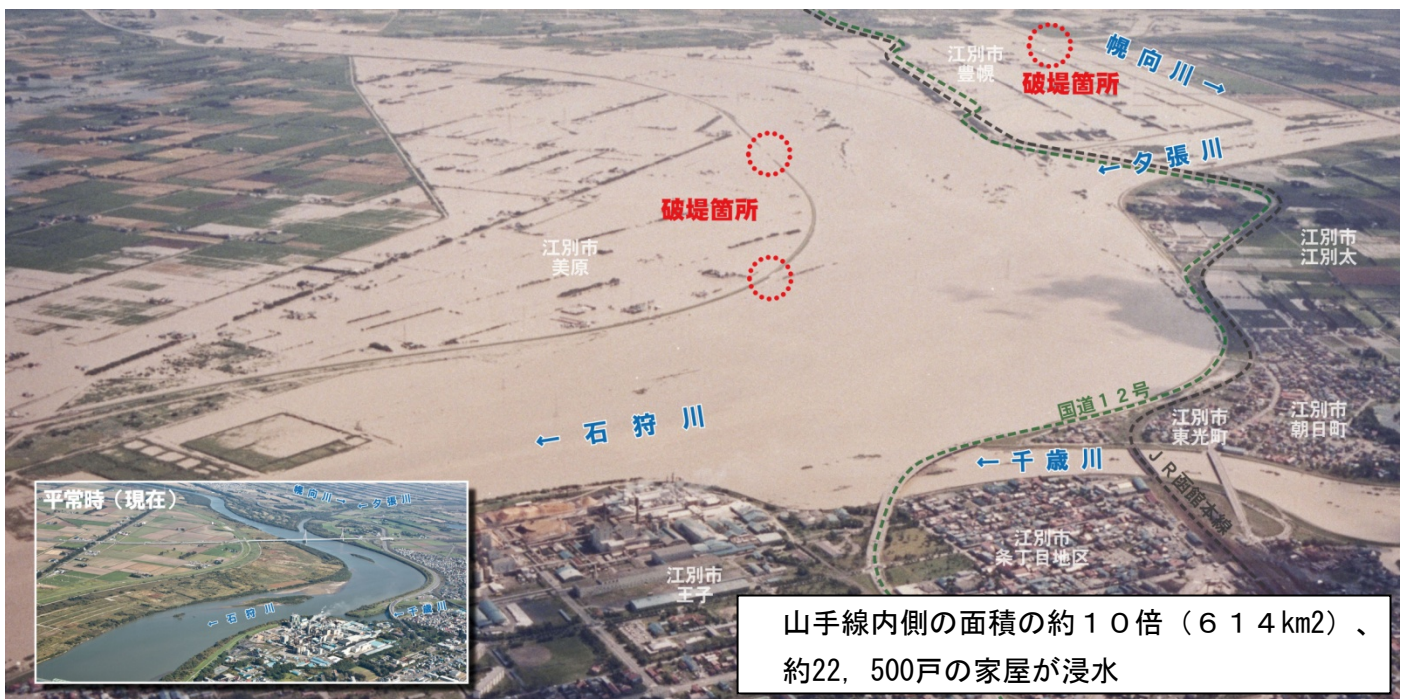
石狩川下流減災対策委員会 設置趣旨

平成27年9月関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流失や広範囲かつ長期間の浸水が発生しました。また、これらに住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほどの多数の孤立者が発生する事態となりました。今後、気候変動の影響により、このような施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが懸念されています。

こうした背景から、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。

本答申においては、氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築する必要があるとされています。また、そのための施策として、関係者が連携して避難に関する計画の作成や水防等の減災に関する様々な課題に対応するための協議会等の仕組みを整備する等、円滑かつ迅速な避難の実現、的確な水防活動の推進等を図るための取組を進めるべきとされています。

このことを踏まえ、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、河川管理者、北海道、市町村等からなる「石狩川下流減災対策委員会」を「石狩川下流水防連絡協議会」の中に設置するものです。



「昭和56年8月洪水 石狩川における氾濫状況」（北海道開発局札幌開発建設部HPより）

石狩川下流減災対策委員会 名簿

関係機関	特 別 委 員 会
開 発 建 設 部	札幌開発建設部長 (会長)
気 象 台	札幌管区气象台気象防災部長 旭川地方气象台長
北 海 道	石狩振興局長 空知総合振興局長 上川総合振興局長
市 町 村	札幌市危機管理対策室長 江別市長 千歳市長 恵庭市長 北広島市長 石狩市長 当別町長 新篠津村長 岩見沢市長 美唄市長 芦別市長 赤平市長 三笠市長 滝川市長 砂川市長 深川市長 富良野市長 夕張市長 上砂川町長 南幌町長 奈井江町長 由仁町長 長沼町長 栗山町長 月形町長 浦臼町長 新十津川町長 妹背牛町長 秩父別町長 雨竜町長 北竜町長 沼田町長 幌加内町長 上富良野町長 中富良野町長 南富良野町長 歌志内市長
北海道電力 株式会社	札幌支店長 旭川支店長